

山添村義務教育学校設立推進基本計画に係る説明会 アンケート集計

アンケート回収率 79%

(用紙…20件、フォーム6件)

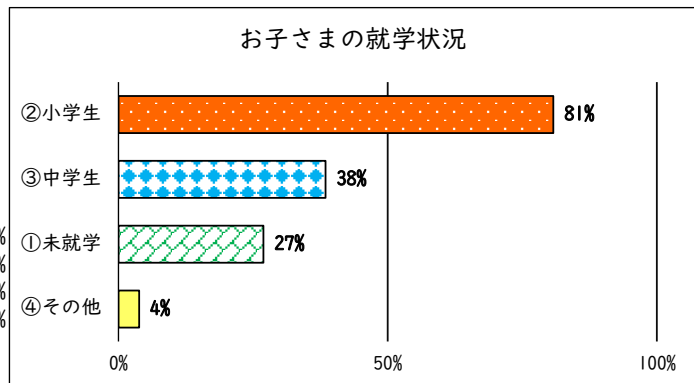
参加者数	33
アンケート回収	26
アンケート未回収	7

Q 1

お子さまの就学状況

①未就学	7	27%
②小学生	21	81%
③中学生	10	38%
④その他	1	4%

*その他（特別支援学校中等部）

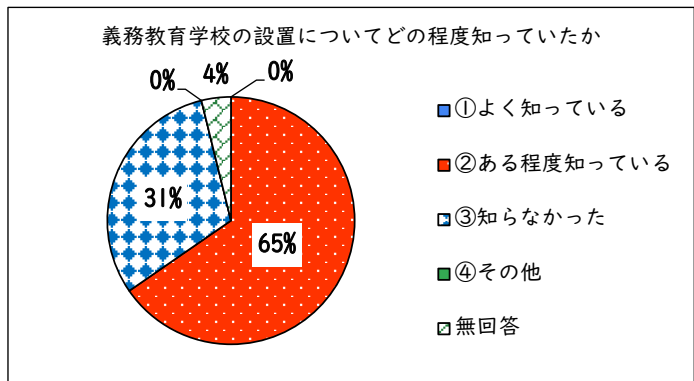


Q 2

義務教育学校の設置についてどの程度知っていたか

①よく知っている	0
②ある程度知っている	17
③知らなかった	8
④その他	0
無回答	1

26



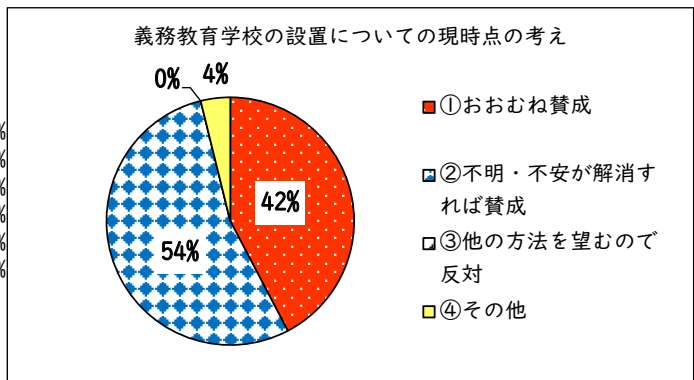
Q 3

義務教育学校の設置についての現時点の考え

①おおむね賛成	11
②不明・不安が解消すれば賛成	14
③他の方法を望むので反対	0
④その他	1

*その他（判断しかねます。）

26

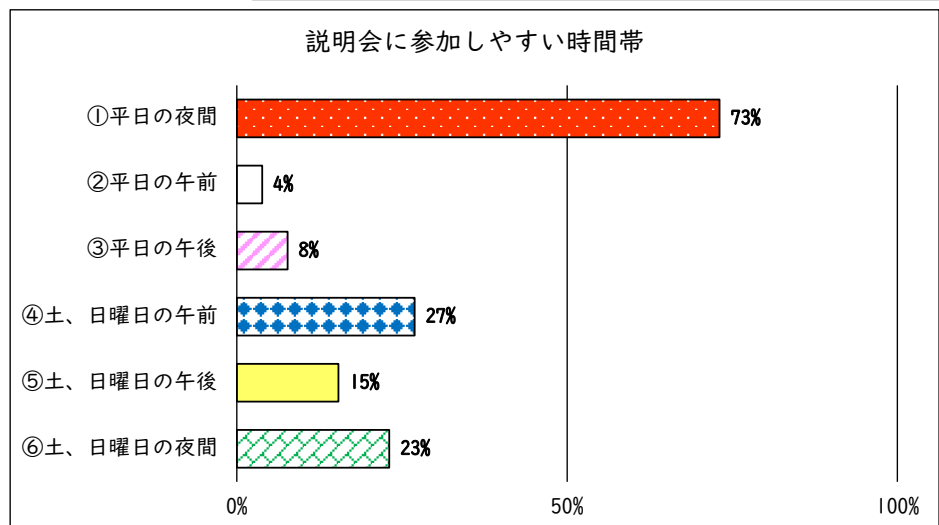


Q 5

説明会における参加しやすい時間帯

①平日の夜間	19	73%
②平日の午前	1	4%
③平日の午後	2	8%
④土、日曜日の午前	7	27%
⑤土、日曜日の午後	4	15%
⑥土、日曜日の夜間	6	23%

26



Q 4. Q 3で②を選択した方は不明な点や不安な点がどのようなものかご記入ください。

また、①、③を選択した方はその理由をご記入ください。

No.	記載内容
1	山添村の子供の数が減ってきているので合併するのは致し方ないと思っています
2	現状を考えると自然な流れかと考えています。
3	カリキュラム等より、特に学校生活における経験や人格形成について不安があります。 1. 自分が小さい頃は小学6年生はもちろん、中学生がとても大きく見え、また、中1のときでも怖い（怖く感じる）先輩もいた。従来はのびのびしていた小学生が、年上の中学生に萎縮するようなことはないか。登下校時や休み時間や昼休みのグラウンドや体育館、主に授業以外の場面で。また現代では小学生でも珍しくないかもしれないが、中学生となると、早い子は彼氏彼女ができたり、性への芽生えの時期でもある。小学生に早すぎる悪影響はないか。（山添村の子どもが優しい、良い子ばかりなのはわかっています。中学生が小学生をいじめたり、いたずらをしたり、というようなことまでは懸念していません。） 2. 資料にもあったが、従来、最高学年や年長者として小学校高学年（5，6年生）のときに芽生えるリーダーシップや責任感など、減少する可能性が考えられる。その経験はどうやって補うのか。 3. 高校受験がある9年生にとって、義務教育学校の最高学年となることが過度な負担になるようなことはないか。（従来は部活も引退し、中学生ともなると日常生活で下級生の面倒を見るようなことはあまりないと思われるが、中学生が小学生の面倒を見るなど、義務教育学校ならではのことが「過度な」負担にならないか。基本的に下の子の面倒を見るのは、良いことだとは思いますが。） 4. 1とは逆に、例えば小学生がうるさい、怪我させてはいけないので思いっきり運動ができない。など、受験生以外にも定期テストなどがある中学生の学習環境や、部活や休み時間を問わず、グラウンドや体育館で体を一杯動かすとき、小学校低学年とはまるで違う大人顔負けの場面も出てくるであろう中学生の力強い運動に制限がかかるなど、中学生の日常生活にとって小学生がすぐそばにいることによるデメリットはないか。 5. 最後に、人数の減少による統合の必要性はよくわかるが、コスト面など消極的な理由から統合を選んでいるように感じられた。メリットとデメリットを整理されていると思うので、「まず小中別の一貫校」ではなく「いきなり義務教育学校」にする、とした納得のいく説明がもう少し欲しいです。
4	教室や学年の配置がどうなるか分かりませんが、高学年のヤンチャの低学年への影響（不良、いじめ）恐怖心から不登校など。そういった場合なにか配慮はなされるのか。
5	新しい時代の教育だと思う。今を生き抜く子供達に成長させるには義務教育学校が必要。 部活動地域移行クラブや、ラケーション導入など特殊ある、移住してでもこの学校に入りたいと思える学校作りをしてほしい。
6	地域の特性に合わせた教育の充実に期待しています。 まず1つ、授業に哲学を入れて欲しいです。学校教育の目標である『一人ひとりの個性を大切に、心身共にたくましい「生きる力」を持った「輝く子どもたち」の育成』をどうやって？哲学です。（北アイルランドに哲学を導入した小学校があります。ドキュメンタリー映画「ぼくたちの哲学教室」） 2つ目にインクルーシブ教育。同じようにすることが難しい子がいても子供達同士でどうやったら出来るのか考えカバーし合うことが普通になっている、教育の目標にも沿っていると思います。 3つ目に地域の人達も関わっての子育て。もうすでに学校ボランティアなどが活発なのが

	心強いです。他に運動会を保育園から義務教育学校まで一緒に賑やかに、子供達の応援に地域の人達も集まって村の運動会みたいになったらいいなと思います。 勝手な思いを書かせていただきました。最後に、子供の人数の先細りの話が出ていましたが、子育てしやすい村、魅力ある学校に外から人が入ってくると可能はあると思います。
7	・義務教育学校を本村が目指す学校形態、9年間を通じた系統的な教育によって目指す子ども像の中に特別支援教育が必要な子どもに触れられていない。もしくは、保護者に届かないグランドデザインであることに（2つ感じさせる）は非常に不安をおぼえます。共に学び、共に成長する。大人になった時にもお互いに思いやる教育もこれからの生きる糧になるはずです。どう教育をその子どもに授けるのかをえがいて説明してください。 ・人口減はこれから仕方ないことです。ただ、今回の義務教育学校を目指すのであれば、役場の他の課の取組で人口減をゆるやかにさせるためにこのようなことも検討していますと多角的に保護者も含め住民に伝えていただくような場であったとしたら、もっと質問を得られるはずかなと思います。私は一体となって役場が取り組んでいる生の声を聞きたいです。 ・豊かな学びのなかには（地域のなかでたくましく育つ）と考えるなかで、広報であったり、地区座談会であったりと住民が知る機会がなおあればうれしく思います。
8	分からないことが多すぎて（今日、初めて知ったことも）。まだ、記入できません。
9	無記載
10	無記載
11	無記載
12	委員会でどのような話があったのかHPで知らせてほしいです。 がんばってください。少ない子ども達のため私たちもお手伝いできることあると思います。また、ちくいち教えてください。
13	学校に通い辛い生徒が増えてしまうのではないかと（先生や環境がずっと変わらない為）
14	高等学校の受験対策や学習環境を整えていただきたいと思います。
15	小・中が一緒になった時の行事や校時等、今後検討される事。
16	人数が少ないのでしかたない。
17	無記載
18	無記載
19	検討時に考えられたことを質疑するのは意味の無い事と考えるので、検討における情報に簡単にアクセス出来る事が前提。
20	まだはっきりと分からないことが多いので、情報公開をして欲しい。誰でも見れるような形が嬉しい。
21	子どもたちに何がプラスになるかわからない。
22	無記載
23	子どもの人数が少なくなるので、1つの学校で9年間通しての教育が受けられるのは良いと思う。村長も、教育委員の方も、子供の事を一番に考えて頂いてありがたいです。
24	義務教育学校の「弱み」について、様々な「工夫」で克服されているとのことでしたが、具体的にどのような方法で克服されているのでしょうか。
25	少人数になるにつれて、説明いただいた大人数の中での学びは必要だと思います。ただ、縦割りや地域交流などは考えてはくださっていますが、やはり変化が少ないのではないかと不安になります。高校へ行った際の環境の変化など。村外の学校との交流も増えたらと思います。
26	工事にかかる予算は十分に確保できるのか。